

みんなの広場

男女協働参画フォーラム『問題行動は子どもからの" SOS"』 あなたは だめな子じゃないんだよ

男女協働参画フォーラムが市民センターであり、福岡県警少年サポートセンター少年育成指導官の安永智美さんが、『問題行動は子どもからの" SOS"』と題して講演をしました。問題行動をとる子どもの声の無い悲痛な叫びや子どものサインを受け止める大人の責任などの話に、参加者は時折、涙をにじませながら聞き入っていました。



↑ 子どもから発せられる心の SOS に気付き、きちんと応えることの大切さを訴える安永さん

鍋島藩祭秋まつり『献上の儀』 幸運を呼び起こす絵柄を選んで献上

伊万里鍋島焼協同組合による 32 回目の『献上の儀』が岡山県岡山市役所で行われました。岡山市の大森雅夫市長に、袴姿の畑石眞二組合代表理事が『色鍋島三柑文瓶子』を献上。瓶子の絵柄には、古来より最も幸運を呼ぶとされる桃、ざくろ、かんきつの『三柑の実』を選んで、コロナ禍の現状が明るくなるようにとの思いを込めました。



↑ 大森市長（右から4人目）に瓶子を献上した伊万里鍋島焼協同組合の代表ら関係者

大野岳タイワンツバメシジミ繁殖地案内看板除幕式 『幻のチョウ』看板お披露目

絶滅危惧種に指定されているタイワンツバメシジミをPRする看板が、大野岳を望む道の駅伊万里ふるさと村に設置され、除幕式がありました。看板は大野岳タイワンツバメシジミ保存会が、県と市による地域活性化事業『さが未来アシスト事業費補助金』を活用して設置。看板を通して『幻のチョウ』への関心と保存活動への理解が期待されます。



↑ 伊万里ふるさと村に設置されたタイワンツバメシジミ繁殖地の案内看板

世界アルツハイマーデー 願いを込めオレンジ色にライトアップ

認知症の理解と支援を呼びかける運動の初めての取り組みで、ロイヤルチェスター伊万里が認知症の啓発運動のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップされました。株式会社朝日興産ディー・ツーでは、電光掲示板にアルツハイマーについてのお知らせが表示され、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現への願いを伝えました。



↑ オレンジ色にライトアップされたロイヤルチェスター伊万里

アレンジおくんち料理

伝統料理でおくんち気分を味わって

NPO法人伊万里のおくんち振興会がフレンチ風アレンジおくんち料理を企画し、市内のフランス料理店で試作会がありました。伝統料理のアレンジを通して、市民がおくんち文化の継承を考えるきっかけになればと考案され、伊万里の食材を使って4品が完成。10月14日からは、伊万里ケーブルテレビで試作会の様子が放送されました。



①にごみのコロケ、②栗おこわの伊万里牛巻きロースト
③伊万里梨とパプリカのなます、④金山のカルパッチョとかけ和え風サラダ



↑マックスバリュ伊万里駅前店では、NPO法人伊万里のおくんち振興会監修の『にごみ』が販売されました

ピッカリ運動2020

高齢者の交通事故防止のために

市交通対策協議会から、高齢者の交通事故防止を目的として、市老人クラブ連合会に反射材 3,400 個を贈呈しました。また、伊万里警察署からも、秋の交通安全県民運動に合わせ、市民に対して、反射材 2,000 個が配布されます。伊万里警察署の川原重樹署長は、「いち早くドライバーに存在を知らせることが大事」と伝えました。



↑反射材を受け取った市老人クラブ連合会の皆さん

元気回復！ドライブでハシゴ大作戦 in 伊万里

車に乗ったままでOK!降りんで買うばい

市役所駐車場でドライブスルー形式の物産展がありました。新型コロナウイルス感染症で打撃を受けた市内飲食店を支援し、市民や観光客に安全にイベントを楽しんでもらおうと企画したもので、市内では初めての取り組みです。12の飲食店が参加したこの日、会場は、事前予約の商品を受け取りに来た車でにぎわっていました。



ジェラートを受け取るドライバー（右）



↑会場の様子

交通安全マスコット人形を寄贈

交通安全の思いを込めて

市老人クラブ連合会は、交通安全のマスコット人形約 400 個を市交通対策協議会に寄贈しました。人形は同会女性部の会員が1つずつ手作りしたもので、毎年寄贈しており、今回で 28 回目となります。贈呈式で女性部長の井手口ミサラさんは、「高齢者は交通事故に遭いやすい。事故がないようにとの願いを込めて作りました」と話しました。



↑寄贈された交通安全のマスコット人形